

M-AUDIO®
OXYGEN61

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

製品保証規定

1. 製品の保証期間はご購入日より一年間です。
2. ご購入時の納品書・領収書がご購入証明になります。紛失しないように大切に保管してください。
3. 保証期間内の無償修理はお買上げの販売店にご依頼の上、購入証明をご提示ください。
4. 贈答品などでお買上げ販売店が不明な場合には、弊社カスタマーサポート部へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の移動や落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 消耗部品の交換。
 - (ホ) 購入証明のご提示がない場合。
 - (ヘ) 購入証明にご購入日および販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. inMusic Japan は製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的および間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づき inMusic Japan が負う責任は販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は inMusic Japan でのみ行われるものとします。
7. オークションなどを含む中古販売品・個人売買品・未開封品の二次販売等は本保証の対象外となります。
8. 修理およびその他ご不明な点につきましては、弊社カスタマーサポート部へご連絡ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

同梱品

Oxygen 61 本体

USB ケーブル

ソフトウェア・ダウンロードカード

クイックスタートガイド/保証書(本書)

サポート

製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）は、M-Audio のホームページ m-audio.jp にてご確認ください。

また、製品のサポートについては、m-audio.jp/support/ をご参照ください。

キーボードを接続する前に

Oxygen 61 は、1本のUSB ケーブルでキーボードへの電源供給を行います。コンピュータに装備されたUSBポートや、ACアダプタで動作するパワードUSBポートに接続することをお勧めします。

接続例



付属ソフトウェアのインストール

付属の MPC Beats、Ableton Live Lite のソフトウェアにより、すぐに音楽を作成できます。さらに、DAW で使用できる AIR パーチャル・インストゥルメント・プラグインのセットも含まれております。

MPC Beats、Ableton Live Lite ソフトウェアをダウンロードするには、m-audio.com にてアカウントを作成し、製品登録を行ってください。Ableton Live Lite を使用する場合は、ableton.com にてアカウントを作成し、ソフトウェアのダウンロード・認証を行ってください。

付属の AIR パーチャル・インストゥルメント・プラグインをダウンロードするには、同梱のソフトウェア・ダウンロードカードの指示に従ってください。インストール完了後、パーチャル・インストゥルメント・プラグインは DAW 上で自動的にロードされない場合がありますので、ソフトウェアでプラグインがインストールされたフォルダーを指定する必要があります。

Ableton Live Lite でプラグインフォルダーを設定する場合：

1. **Preferences (設定)** メニューを開きます。
2. **File Folder (ファイルフォルダー)** タブを開きます。**Plug-In Sources (プラグインソース)** で **Browse (参照)** をクリックし、上記リストを参照し適切なプラグインフォルダを選択します。
3. プラグインフォルダを選択すると、**Use VST Custom Plug-In Folder** ボタンが **ON** になります。**ON** にならなかった場合はボタンを押して **ON** にし、**Preferences (設定)** メニューを閉じます。

Ableton Live のセットアップ

1. Oxygen 61 をコンピュータに接続し、Ableton Live Lite を立ち上げます。
2. Ableton Live Lite の **Preferences (設定) ウィンドウ** を開きます。Mac をご使用の場合は、**Live > Preferences** の順にメニューを開きます。PC をご使用の場合は、**Options > Preferences** の順にメニューを開きます。
3. 左側の **Link/MIDI** タブを選択します。**MIDI Ports (MIDI ポート)** のセクションで、以下の設定を行います。

Control Surfaces の **Input (入力)** と **Output (出力)** のセクションで Oxygen 61 DAW (Port 2) を選択します。

Input: Oxygen 61 の横にある **Track** 列と **Remote** 列で **ON** を選択します。Oxygen 61 を外部 MIDI クロックソースとして使用する場合は **Sync** を **ON** にしてください。

Input: Oxygen 61 (Port 2) の横にある **Track** 列と **Remote** 列で **ON** を選択します。

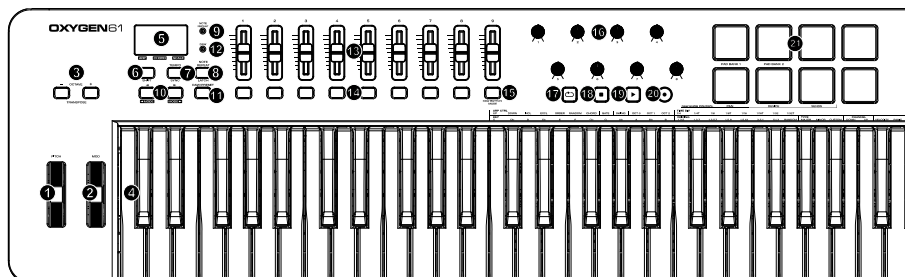
Output: Oxygen 61 の横にある **Track** 列と **Remote** 列で **ON** を選択します。Ableton Live を外部 MIDI クロックソースとして使用する場合は **Sync** を **ON** にしてください。

Output: Oxygen 61 (Port 2) の横にある **Track** 列と **Remote** 列で **ON** を選択します。

4. **Preferences (設定)** メニューを閉じます。
5. Oxygen 61 でトリガーするインストゥルメントまたはプラグインを追加するには、**Categories** 列で **Instruments** か **Plug-ins** を選択します。
6. **Categories (カテゴリー)** 列の右側にある **Name** 列で、ご使用になるインストゥルメントまたはプラグインを選択し、Ableton Live Lite の MIDIトラックにクリック&ドラッグしてロードします。

この設定により、インストゥルメントをトリガーできるようになります。

トップパネル



ピッチベンドホイール/モジュレーションホイール/Octave ボタン

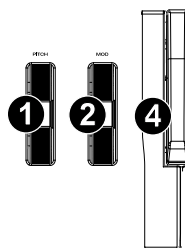
1. **ピッチベンド・ホイール**：このホイールを操作すれば、演奏中にピッチを上下させることができます。ピッチベンドのレンジはご使用のソフトウェアシンセにより異なります。ピッチベンド・ホイールはスプリング式で、指を離すと通常の位置・音程に戻ります。



2. **モジュレーション・ホイール**：このホイールを動かして、演奏中にエフェクトの連続コントローラーデータ（モジュレーション）を上下させ、エフェクトの値が増減させることができます。

一般的なシンセサイザーでは、このホイールはビブラート（イントネーションの変化）またはトレモロ（音量の変化）の制御に割り当てられています。

Oxygen 61では、モジュレーションホイールに割り当てるエフェクトを変更したり、様々なMIDIメッセージの送信に割り当てることも可能です。



3. **OCTAVEボタン (- / +)**：これらのボタンを使って、キーボードのレンジを1オクターブづつ上下にシフトします。

SHIFTボタンを押しながらOCTAVEボタンのいずれかを押すと、キーボードのピッチを数セミトーンだけを上下どちらかにトランスポーズすることができます。

4. **キーボード**：ペロシティ対応のキーボードで、MIDIノート情報を送出します。鍵盤の上に印字のあるサブ機能にアクセスする際にも使用します。

キーボードのサブ機能にアクセスするには、**SHIFT**を押しながらアクセスしたい機能名の印字がある鍵盤を押します。

注意：アクセスできるサブ機能の上限は、キーボードで使用中のモードにより異なります。例えば、Smart Chord モードが ON の場合、SHIFT と鍵盤を押してアクセスできるのは Smart Chord モードで使用できるサブ機能のみとなります。

鍵盤のサブ機能リスト

アルペジエーター

- **ARP CTRL (アルペジエーターコントロール)**：アルペジエーターの設定です。以下のパラメーターの中から選択します。
UP、DOWN、INCL、EXCL、ORDER、RANDOM、CHORD：この7つのパラメーターの1つを選択すると、キーまたはパッドを押したときに音が鳴る順番を設定することができます。
- **GATE**：アルペジオノートの長さを調節する設定です。
- **SWING**：アルペジオノートのリズムを調節する設定です。
- **OCT 0、OCT 1、OCT 2**：アルペジオパターンの中に含まれるオクターブ数の設定です。
- **TIME DIV (タイムディビジョン設定)**：ノートリピート機能とアルペジエーター機能のタイミングとリズム (タイムディビジョン) の設定を選択します。選択可能なタイムディビジョン設定は以下の通りです。
1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T

Smart ChordモードとSmart Scaleモード

- **KEY**：Smart ChordモードとSmart Scaleモードに使用する鍵盤の設定です。選択可能な鍵盤は以下の通りです。
C、Db、D、Eb、E、F、Gb、G、Ab、A、Bb、B
- **VOICING**：Smart Chordモード鍵盤を1つだけ押した際に演奏される和音の設定です。選択可能な設定は以下の通りです。
1,3,5、1,3,7、1,3,5,7、1,5,9、1,5,12、3,5,1、5,1,3、RANDOM
- **TYPE**：Smart ChordモードとSmart Scaleモードに使用する音階の設定です。
Smart Chordモードで選択可能な音階の設定は以下の通りです。
MAJOR、MINOR、CUSTOM
Smart Scaleモードで選択可能な音階の設定は以下の通りです。
MAJOR、PENTATONIC MAJOR、MINOR、MELODIC MINOR、HARMONIC MINOR、PENTATONIC MINOR、CUSTOM DORIAN、CUSTOM BLUES

MIDIチャンネル、ベロシティカーブ、パニック機能

- **CHANNEL (DOWN/UP)**：キーボード/パッドの演奏やホイールコントロールのMIDI信号を送信するMIDIチャンネルを選択します。
- **VELOCITY**：キーボード/パッドのベロシティカーブを設定します。キーボードのベロシティカーブ設定にはキーボードを、パッドのベロシティカーブ設定にはパッドを触ってからこの設定を選んでください。
- **PANIC**：パニック機能を設定します。パニック機能を使用すると、16のすべてのMIDIチャンネルの全ノートの消音 (ノート・オフ) 情報が送信されます。

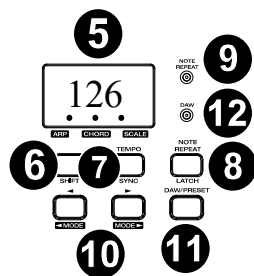
これらの機能について詳しくは、m-audio.comをご参照ください。

更なる機能にアクセスするには、m-audio.comにてPreset Editorソフトウェアをダウンロードしてください。

メイン機能

5. **ディスプレイ**：このLEDディスプレイには最新の操作内容やプログラム、コントローラーの状態が3桁の数字で表示されます。

LEDディスプレイの3つのドットは、4つのモード（アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale）のいずれかがONの状態でご各モードのステータスを表します。ドットはそれぞれ下記3つのモード名の上にあります。（アルペジエーターモード、アルペジエーター・ラッチモードのステータスは両方ARP表記の上のドットでご確認ください）。



- **ARP**：アルペジオモードがONの状態ではLEDが点灯します。アルペジエーター・ラッチモードがONの状態では、LEDが**点滅**します。
 - **CHORD**：Smart ChordがONの状態ではLEDが点灯します。
 - **SCALE**：Smart ScaleがONの状態ではLEDが点灯します。
6. **SHIFTボタン**：**SHIFTボタン**を長押ししながらコントロール機能やキーボードのボタンを押すと、各機能のサブ機能にアクセスできます。
7. **TEMPOボタン**：このボタンを押すとOxygen 61のテンポを設定できます。長押しして**ディスプレイ**のテンポ編集メニューを開き、(＜) または (＞) **ボタン**を使用してテンポを変更することもできます。
- SYNC**：**SHIFTボタン**を押ししながら**TEMPOボタン**を押すと、**SYNC機能**でOxygen 61のテンポをDAWと同期することもできます。
8. **NOTE REPEAT (ノートリピート) ボタン**：このボタンを押すとパッドのノートリピート機能がONになります。

LATCH (固定)：**SHIFTボタン**を押ししながら**LATCHボタン**を押すと、演奏したノートリピートが固定され、指を離しても再生が継続する状態にすることができます。

ノートリピート機能がONの状態では**SHIFTボタン**を押しながら鍵盤でタイムディビジョンを押せば、ノートリピート機能とアルペジエーター機能のタイムディビジョンの設定を選択することができます。

9. **NOTE REPEAT LED**：ノートリピートモードがONの状態でご点灯するLEDです。
10. (＜) / (＞) **ボタン**：プリセットモードでプリセットを選択するボタンです。
- (＜ MODE) / (MODE ＞)：(＜) / (＞) ボタンのサブ機能です。**SHIFTボタン**を押しながら (＜) / (＞) **ボタン**のいずれかを押すと、4つのモード（アルペジエーター、アルペジエーター・ラッチ、Smart Chord、Smart Scale）を切り替えることができます。

(＜) / (＞) ボタンを両方同時に押すと、現在ONの状態になっているモードをOFFにすることができます。例えばSmart Scaleモード使用中に (＜) / (＞) ボタンを両方同時に押すと、通常の状態に戻れます。

注意：ボタンの機能は使用中のモードにより異なります。下記をご参照ください。

DAWモードの場合：DAWモードで (＜) / (＞) ボタンを使用すると、トラックバンクを切り替えることができます。

プリセットモードの場合：プリセットモードで (＜) / (＞) ボタンを使用すると、プリセットを切り替えることができます。エディットモードで (＜) / (＞) ボタンを使用すると、編集可能なコントロール機能の項目を切り替えることができます。

11. **DAW / PRESET ボタン**：このボタンを押すと、フェーダー/ノブ/ボタン/パッドのプリセットモード/DAWモードをONにすることができます。

DAWモードがONの状態ではフェーダー、フェーダーボタン、(＜) / (＞) ボタン、パッドまたはノブを操作すると、Mackie/HUI、またはMIDI CCメッセージが送信されます（選択されているDAWより異なる）。

プリセットモードがONの状態では、(＜) / (＞) ボタンを使用してパーチャル・インストゥルメントを選択することができます。

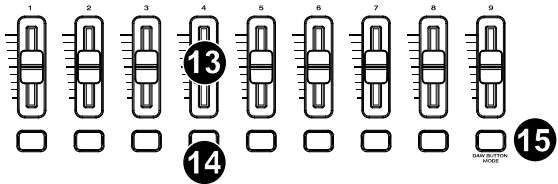
重要：使用中の DAW を切り替えるには **SHIFT ボタン** を押しながら **DAW/PRESET ボタン** を押します。

- **NC1**：Mackie 1から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **NC2**：Mackie 2から通常のMackieメッセージが送信されます。Mackie 1との違いは、より解像度の高いパンのスイープ信号を送信できることです。Mackieコントロールは一般にCubase、Studio One、Logic、ReaperなどのDAWソフトウェアに使用します。
- **M|h**：主にPro ToolsのようなDAWソフトウェアにMackie/HUIメッセージが送信されます。
- **N1**：MIDI 1からAbletonに通常MIDIメッセージが送信されます。
- **N2**：MIDI 2からMPC BeatsやReasonに通常MIDIメッセージが1セット送信されます。
- **N3**：MIDI 3 MIDI 3からAbletonに通常MIDIメッセージが1セット送信されます。クリップのローンチやその他のアドバンス機能に使用することができます。

12. **DAW LED**：DAW モードがON の状態で点灯するLED です。

フェーダー/ボタン

13. **フェーダー (1~9)**：フェーダーを上下に動かすと、割り当てたコントロールを操作でき、通常MIDI CC メッセージやその他のMIDIメッセージを送信することができます。送信されるMIDIメッセージの種類は、割り当てたパラメータや、使用するプリセットにより異なります。



DAW モードの場合：トラックフェーダーまたはその他の DAW コントロールのチャンネルフェーダーメッセージを送信します。

プリセットモードの場合：事前に決定された CC メッセージまたはユーザーが割り当てを編集した MIDI CC メッセージを送信します。

14. **フェーダーボタン**：マッピング可能なボタンで、Noteメッセージ/CCメッセージまたはその他のMIDIメッセージ送信に割り当てることができます。

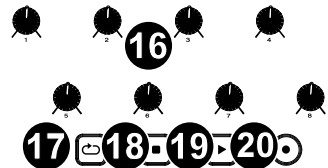
DAWモードの場合：Mackie/HUIメッセージもしくは事前に決定されたCCメッセージを送信し、トラックへの録音/トラックの選択/ミュート/ソロボタンとして機能します。

プリセットモードの場合：事前に決定されたCCメッセージまたはユーザーが割り当てを編集したMIDIパラメーターを送信します。

15. **DAW BUTTON MODEボタン**：DAWモードがONの状態**SHIFTボタン**を押しながらこのボタンを押すと、フェーダーボタンに割り当てられたモード（トラックへの録音/トラックの選択/ミュート/ソロ）を切り替えることができます。





ノブ/トランスポートコントロール

16. **ノブ (1~8)**：ノブを左右に回すと、割り当てたコントロールを操作でき、通常MIDI CC メッセージやその他のMIDIメッセージを送信することができます。送信されるMIDIメッセージの種類は、割り当てたパラメータや、使用するプリセットにより異なります。各ノブはそれぞれ別のMIDIパラメーターに割り当てることができます。



DAW モードの場合：Mackie/HUI メッセージもしくは事前に決定された CC メッセージを送信します。トラックのパン（音の定位）、デバイスコントロール、AUX センドをノブで操作することができます。

プリセットモードの場合：プリセット 1～10 を使用し、ユーザーが割り当てを編集した MIDI メッセージを送信します。

17.  **LOOPボタン**：DAW上でのループ機能のON/OFFを切り替えます。
18.  **STOPボタン**：このボタンを押すと、DAWで開いているソングが停止します。ダブルクリックすると開いている曲が停止し、再生ヘッドがソングの最初に戻ります。
19.  **PLAYボタン**：このボタンを押すと、DAWでソングが再生します。
20.  **RECORDボタン**：このボタンを押すと、DAWで録音が可能になります。

パッド

21. **パッド (1～8)**：パッドを使用して演奏すれば、MIDIノートON/OFFメッセージやベロシティデータを送信することができます。

SHIFTボタンを押しながらパッドを押すと、下記のパッドのサブ機能や設定にアクセスできます。

PAD BANK 1 (Pad 1)：パッド (1～8) で使用するパッドバンクをBANK 1に設定します。

PAD BANK 2 (Pad 2)：パッド (1～8) で使用するパッドバンクをBANK 2に設定します。



DAWノブ・コントロール

PAN (Pad 6)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのパン・コントロールが可能になります。

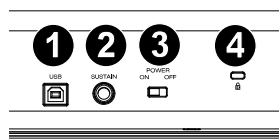
DEVICE (Pad 7)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのデバイスコントロールが可能になります。

SENDS (Pad 8)：選択すると、それぞれのノブでソフトウェア上のトラックのAUX send・コントロールが可能になります。

注意：これらのノブコントロール機能は、すべてのDAWソフトウェアで使用できるとは限りません。

リアパネル

1. **USBポート**：コンピュータに接続し、キーボードへの電源供給とMIDIデータの送受信を行うUSB 2.0ポートです。
2. **サステインペダル接続端子**：サステインペダル（別売）を接続する入力端子です。キーを演奏しペダルを踏むと、キーから指を離している間もサステイン効果を得られます。



注意：サステインペダルを踏みながら Oxygen 61 の電源を入れしないでください。サステインペダルは Oxygen 61 起動時に OFF の状態だと自動的に認識されるため、踏みながら電源を入れると、挙動が正反対（踏んでいない状態でサステイン効果がかかり、踏むと OFF になる）になってしまいます。

3. **電源スイッチ**：Oxygen 61の電源のON/OFFを切り替えます。
4. **ケンジントンロック・スロット**：盗難防止用の標準的なラップトップスタイルのケンジントン・セキュリティケーブルを接続できる端子です。

付録

プリセットリスト

1. MPC PI
2. Hybrid 3
3. Mini Grand
4. Velvet
5. Xpand!2
6. Vacuum
7. Boom
8. DB33
9. General MIDI
10.General MIDI

技術仕様

電源	USB バスパワー
サイズ (W x D x H)	977 mm x 243 mm x 94 mm
重量	約 3.4 kg

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標およびライセンス

M-Audio は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

AAX、Avid、および Pro Tools は、アメリカ合衆国あるいはその他の国における Avid Technology, Inc の登録商標または商標です。

Ableton は Ableton AG の商標です。

ASIO および VST は、Steinberg Media Technologies, GmbH の商標です。

Apple Store、iPad、macOS および Macintosh は、Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国において Apple Inc. の登録商標です。

Kensington は、ACCO Brands の登録商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名または会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。